



## 患者さまご本人の情報

フリガナ		性別
名前		男 女
生年月日	明治・大正・昭和・平成・西暦 _____年 _____月 _____日 生まれ	
住所	〒	
電話番号	( )	
備考		

## 緊急連絡先

フリガナ		続柄
名前		
住所	〒	
電話番号	( )	

# 目次

## 患者さまへ

患者さまに留置 <small>リゅうち</small> されているAbsorb <sup>®</sup> ステント <small>アブソープ</small> .....	1
お守りいただきたい重要なこと .....	1
抗血小板薬による副作用の自覚症状例 <small>こうけっしょうばんやく</small> .....	3
日常生活での注意事項 .....	4
Absorb <sup>®</sup> ステント留置 <small>アブソープ</small> 後の注意事項 <small>リゅうち</small> .....	6
海外で医療機関にかかる場合 .....	7
よくある質問と回答(Q&A) .....	9

## 医療機関の方へ

抗血小板薬服用について .....	13
血液検査の重要性について .....	14
抗血小板薬による副作用の自覚症状例 .....	14
MRIについて .....	15
ステント留置施設情報 .....	16
患者さまを治療/管理する医療機関情報 .....	16
患者さまへのステント留置情報 .....	17
抗血小板薬:処方履歴 .....	19
血液検査記録 .....	23

## 患者さまに留置されているAbsorb<sup>®</sup>ステント

患者さまの冠動脈には狭くなった部分を広げるために、留置後に時間をかけて体内で溶ける<sup>アブゾーブ</sup>Absorb<sup>®</sup>生体吸収性冠動脈ステント（以下、Absorb<sup>®</sup>ステント）\*が留置されています。また、このステントには血管が再び狭くなることを防ぐ目的でエベロリムスという薬が塗られています。

\*販売名：Absorb GT1 生体吸収性スキャフォールドシステム

## お守りいただきたい重要なこと

- ① この手帳と抗血小板薬服用カードは常に携帯してください。
- ② 転院する場合、もしくは他院や他診療科・歯科・薬局にかかる際には、この手帳と抗血小板薬服用カードを提示してください。
  - 医師・歯科医師・薬剤師が治療方法や薬の飲み合わせ等について考慮するために必要です。
  - 手術や抜歯を行う際、血が止まりにくかったり、他の薬との飲み合わせにより、作用の強さが変化する場合があります。

③ 処方された薬は、医師や薬剤師の指示を守って服用ふくようしてください。

- 患者さまの判断により服用を止めないでください。
- Absorb<sup>®</sup> アブソorb スtentによる治療に伴い、stentに血栓(血のかたまり)が付着することを防ぐために薬(抗血小板薬)を術後少なくとも12か月間服用することが推奨されています。

④ 医師により指示された場合は、必ず血液検査を受けてください。

- 血液検査により、自分では気付くことができない体の反応や副作用の兆候を調べることができます。
- 指示された血液検査を受けていない、転院先で行われない場合は、医師にお知らせください。

⑤ 薬ふくようの服用による体調変化を感じた際には、どんなことでも医師にお知らせください。

- 抗血小板薬こうけつしょうばんやくの服用時には、次ページのような副作用症状を自覚することがあるかもしれませんので、患者さまご自身の体調変化には特に注意してください。

こうけっしょうばんやく

## 抗血小板薬による副作用の自覚症状例

こうけっしょうばんやく

次のような症状が現れた際には、抗血小板薬による副作用の可能性があるので、直ちに医師にお知らせください。これ以外にも様々な自覚症状が現れることがありますので、気になることがありましたら医師にお知らせください。

- 発熱、頭痛、のどの痛み
- かゆみ、皮膚のただれ
- 鼻や歯茎からの出血
- 食欲不振
- 血を吐く
- 吐き気、おう吐
- 尿が褐色になる
- からだがだるい
- 便が黒くなる、  
血が混ざった便が出る
- めまい、耳鳴り、冷や汗
- あざができる(紫色・赤色)
- 息苦しい
- 意識がうすれる
- 皮膚や白目が黄色くなる

医師により指示された場合は、必ず血液検査を受けてください。自覚症状が無くても体に異変が起きている場合がありますので、副作用の早期発見のためには血液検査が非常に重要です。

こうけっしょうばんやく ふくよう

抗血小板薬を服用すると、出血した際に血が止まりにくくなります。

内視鏡検査・抜歯・手術など出血を伴う治療を受ける際は、事前に

担当医師へAbsorb<sup>®</sup> アブゾーブ スtent リゆうち を留置していること、及び抗血小板薬を こうけっしょうばんやく

服用中であることを申し出てください。抗血小板薬服用の必要性や ふくよう 治療の優先度など、医師による考慮や判断が必要となってきます。

## 日常生活での注意事項

医師から処方された薬の服用を守り、毎日の生活習慣を整えることが、健康的な生活を送るために重要です。

### ● タバコを吸うのはやめましょう。

喫煙は、動脈硬化<sup>どうみやくこうか</sup>※を促進します。また、血液を固まりやすくし、血管を詰まらせる血栓<sup>けっせん</sup>ができやすくなります。

### ● バランスのよい食生活を心がけましょう。

塩分・脂肪分・糖分・カロリーの取りすぎに注意して、規則正しく食事を取りましょう。

### ● お酒はほどほどにしましょう。

### ● ストレスと上手に付き合しましょう。

ストレスをためないように、自分なりのリラックス方法を見つけましょう。

### ● 適度な運動をしましょう。

ウォーキングなど穏やかな運動が適しているといわれています。どのくらいの運動量が適しているかは医師に相談してください。

### ● 水分をこまめに取るよう心がけましょう。

体が脱水すると血栓<sup>けっせん</sup>ができやすくなります。

※ 血管の内壁にコレステロールなどが沈着することで、血管が柔軟性を失い、硬化してしまうことを動脈硬化<sup>どうみやくこうか</sup>といいます。

# 患者さまへ

ステントは、狭くなった冠動脈部位<sup>かんどうみやく</sup>を局所的に押し広げて血流を回復させることに効果を発揮しますが、狭くなったり閉塞<sup>へいそく</sup>してしまった冠動脈自体<sup>かんどうみやく</sup>を元に戻せるわけではなく、動脈硬化を防ぐものでもありません。

喫煙、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症、ストレスなどが狭心症<sup>きょうしんしょう</sup>や心筋梗塞<sup>しんきんこうそく</sup>の危険因子と言われており、生活習慣を整えることが狭心症<sup>きょうしんしょう</sup>や心筋梗塞<sup>しんきんこうそく</sup>の発症を抑えるために重要となります。





アブソープ

リゅうち

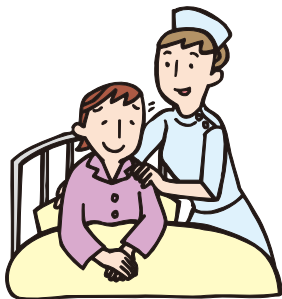
## Absorb<sup>®</sup> スtent 留置後の注意事項

アブソープ

Absorb<sup>®</sup> スtentには、血管の治療したところが再び狭くなることを防ぐ目的で薬が塗られています。子供を儲ける予定のある方（男性及び女性）へのこの薬の影響は確認していません。

このため、生殖への影響が不明なため、以下のことをお守りください。

スtent<sup>リゅうち</sup>留置前から男女とも効果的な避妊を行い、<sup>リゅうち</sup>留置後12ヶ月は続けてください。



## 海外で医療機関にかかる場合

以下に、「私は冠動脈疾患かんどうみやくしつかんにより生体吸収性ステントりゅうちを留置りゅうちしています。それに伴い、抗血小板薬こうけつしょうばんやくを服用ふくようしています」という外国語表記を記載しています。海外滞在中に医療機関及び薬局を利用される場合は、このページを提示してください。

### 英語

I have a naturally dissolving stent for a coronary artery disease. Accordingly, I am taking antiplatelet medications.

### 韓国語

저는 심혈관 질환으로 인하여 자연적으로 흡수되는 스텐트를 시술 하였습니다. 그에 따라 항혈소판약을 복용하고 있습니다.

### スペイン語

He sido tratado (a) con un stent biorreabsorbilbe de forma natural debido a enfermedad arterial coronaria. Por ello, estoy tomando fármacos antiplaquetarios.

### 中国語:簡体(北京、四川など主に中国大陸にて使用)

我患有冠状动脉疾病, 体内留置有自然可溶解支架, 同时还在服用抗血小板药物。

### 中国語:繁体 (香港、台湾などで使用)

我患有冠狀動脈疾病，體內留置有自然可溶解支架，同時還在服用抗血小板藥物。

### ドイツ語

Zur Behandlung meiner Koronaren Herzkrankheit wurde mir ein selbstauflösender Stent implantiert. Daher nehme ich gerinnungshemmende Medikamente (Thrombozytenaggregationshemmer).

### フランス語:男性患者の場合

Je souffre d'une pathologie coronarienne pour laquelle je suis porteur d'une endoprothèse résorbable par voie naturelle. A ce titre, je suis un traitement anti-agrégant plaquettaire.

### フランス語:女性患者の場合

Je souffre d'une pathologie coronarienne pour laquelle je suis porteuse d'une endoprothèse résorbable par voie naturelle. A ce titre, je suis un traitement anti-agrégant plaquettaire.

## よくある質問と回答(Q&A)

Q1: <sup>アブソーブ</sup>Absorb<sup>®</sup>ステントは、<sup>リゅうち</sup>留置後どうなりますか？

A1: <sup>アブソーブ</sup>Absorb<sup>®</sup>ステントは、<sup>リゅうち</sup>留置後約3年で血管に吸収されます。  
ただし、ステント位置の確認のための非常に小さなプラチナ製  
マーカーは血管内に残ります。

Q2: <sup>アブソーブ</sup>Absorb<sup>®</sup>ステントが体内にあることを感じますか？

A2: 体内にあるステントの存在を感じることはありません。





# 患者さまへ

Q7: どのくらいの期間で仕事に復帰できますか？

A7: 多くの方が術後数日～1週間程度で仕事に復帰されています。  
患者さまにより異なりますので、詳しくは担当医師にご相談ください。

Q8: こうけっしょうばんやくふくよう抗血小板薬服用カードやアブゾーブAbsorb®ステント手帳を携帯する理由は何ですか？

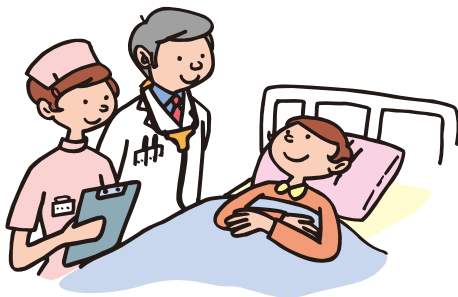
A8: このカードや手帳は、他の医療機関や他科にかかる際、患者さまのかんどうみやく冠動脈にアブゾーブAbsorb®ステントがりゅうち留置されていること及び、こうけつ抗血小板薬を服用していることを医師・歯科医師・薬剤師に対して知らせる大切な役割を担っています。カードや手帳を医療従事者に提示することで適切な検査や処置を受けることができますので、常に持ち歩くようにしてください。

Q9: アブゾーブAbsorb®ステント留置後に、りゅうち痛みや違和感があったら、どうすればよいですか？

A9: ご自身で何か不安に感じられることがあれば、我慢をせず医師にご相談ください。

Q10: 医師により血液検査を受けるように指示されましたが、なぜですか？

A10: こうけつしょうばんやく ふくよう 抗血小板薬の服用により出血、血栓性血小板減少性紫斑病、重篤な肝障害等の重い副作用が起こることがあります。血液検査により、自分では気付くことができない体の反応や副作用の兆候を調べることができます。健康的な生活を送るためにも非常に重要ですので、医師の指示に従い血液検査を受けてください。



## 抗血小板薬服用について

この手帳の持ち主（患者さま）には冠動脈にAbsorb GT1生体吸収性スキャフォールド（吸収性冠動脈ステント）が留置されており、術後少なくとも12ヶ月間の二剤抗血小板療法（DAPT\*）が推奨されています。（服用開始時期や処方履歴に関しては、19～22ページの「抗血小板薬：処方履歴」をご参照ください）。

\*アスピリンとチエノピリジン系薬剤（プラスグレル塩酸塩製剤、クロピドグレル硫酸塩製剤、チクロピジン塩酸塩製剤等）の投与

薬剤の相互作用や合併症についてご考慮いただけますようご協力をお願いします。

患者さまの病状により上記薬剤の処方箋変更が必要な場合には、本吸収性ステントを留置した医師まで必ずご連絡くださいますようご協力をお願いします（担当医師名は、16ページに記載されておりますのでご参照ください）。



## 血液検査の重要性について

チエノピリジン系薬剤（プラスグレル塩酸塩製剤、クロピドグレル硫酸塩製剤、チクロピジン塩酸塩製剤等）では、主に服用開始後2ヶ月以内に、重篤な副作用（肝障害/顆粒球減少症/血栓性血小板減少性紫斑病：TTP）がまれに起こることが報告されています。副作用の発現を事前に防ぐために、必要に応じて血液検査を行ってください。

## 抗血小板薬による副作用の自覚症状例

- 発熱、咽頭痛、頭痛
- 鼻出血、歯肉出血
- 吐血
- 褐色尿
- 血便（消化管出血）
- 紫斑等の出血症状
- 眼球黄染、皮膚の黄染
- 発疹、そう痒感、湿疹
- 食欲不振
- 悪心・嘔吐
- 倦怠感
- めまい、耳鳴り、冷や汗
- 呼吸困難
- 意識障害等の精神・神経症状

患者さまに処方される抗血小板薬の添付文書を必ずご確認ください。

## MRIについて

非臨床評価において、本吸収性ステント（スキャフォールド）は、3テスラ（T）以下のMRIの使用が可能である「MR Conditional」に該当することが示されています。

### <非臨床評価結果>

静磁場強度1.5及び3TのMRIシステムを用いたRF誘導加熱試験の結果、単一及び重複留置した本スキャフォールドの温度上昇は、対照（検体なしの場合）の温度上昇と比較して差がないことを確認した（最大局所比吸収率（SAR）12.6 W/kg）。また、3T MRI装置におけるスキャフォールドの偏光角の測定結果も0であった。

なお、3TのMRIシステムでGradient Echo法によりイメージングを行うときのスキャフォールドによるアーチファクトは、スキャフォールドの範囲全体には及んでいないものの、わずかな信号変化の領域が認められた。

弊社最新添付文書は、[独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のウェブサイト](#)より入手できます。

## ステント留置施設情報

医療機関名	
住 所	〒
電話番号	( )
診療科名	
担当医師名	

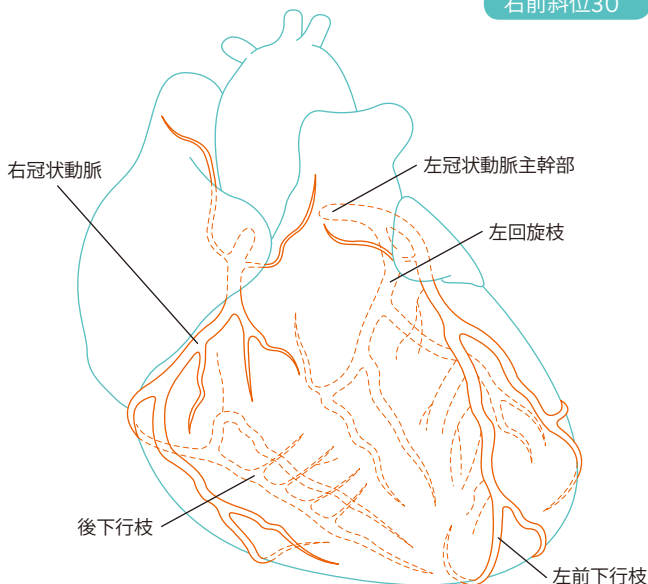
## 患者さまを治療 / 管理する医療機関情報

医療機関名	
住 所	〒
電話番号	( )
診療科名	
担当医師名	

## 患者さまへのステント留置情報

ステント留置部位を提示してください。

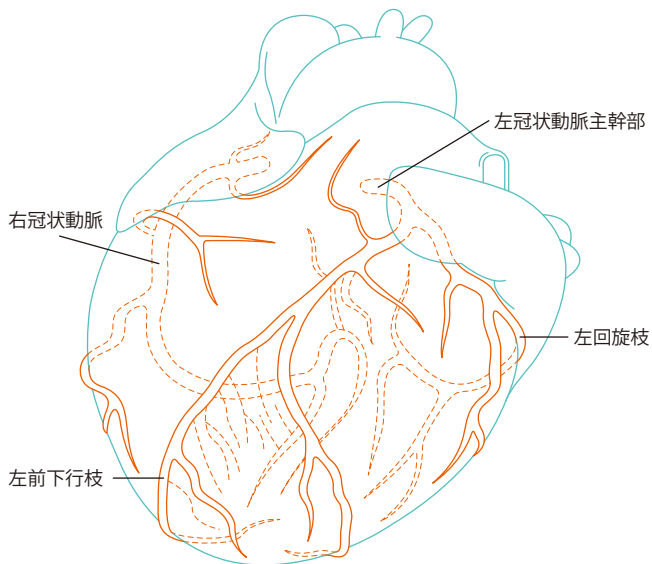
右前斜位30°



留置日	サイズ	留置部位	備考欄*

\* Absorb®ステントと他のステントを同時に留置した場合は製品名等を記入して下さい。

左前斜位60°



留置日	サイズ	留置部位	備考欄*

\* Absorb®ステントと他のステントを同時に留置した場合は製品名等を記入して下さい。

## 抗血小板薬：処方履歴

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

## 抗血小板薬：処方履歴

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			



年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

年月日	年	月	日
服用薬剤名			
医療機関名			
医師名			

## 血液検査記録

検査日(            年)	/	/	/
赤血球数(RBC)万/ $\mu$ L			
白血球数(WBC) / $\mu$ L			
血小板数(PLT)万/ $\mu$ L			
GOT (AST)			
GPT (ALT)			
CRP			
CPK			

検査日(            年)	/	/	/
赤血球数(RBC)万/ $\mu$ L			
白血球数(WBC) / $\mu$ L			
血小板数(PLT)万/ $\mu$ L			
GOT (AST)			
GPT (ALT)			
CRP			
CPK			

<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>

<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>	<i>l</i>




製造販売業者：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

Absorb and Absorb GT1 are trademarks of  
the Abbott Group of Companies.


© 2016 Abbott. All rights reserved. JZ-0030-01

 **Abbott**

カード表

**抗血小板薬服用カード** 

心臓疾患治療のため、Absorb GT1 生体吸収性スキャフォールド（吸収性冠動脈ステント）を留置しています。これにともない、ステントに血栓がつくことを防止するために抗血小板薬を服用しています。やむを得ず服用を中止する場合は、カード裏面の担当医師にご相談下さい。

 このカードは常に持ち歩いてください。  
また、他院や他診療科、歯科、薬局にかかる際には提示をしてください。

カード裏

患者さまのお名前

留置実施医療機関名

電話番号

担当医師

ステント留置日

製造販売業者：アボット バスキュラー ジャパン株式会社  
Absorb and Absorb GT1 are trademarks of the Abbott Group of Companies.  
(会社代表電話：03-4560-0700) ©2016 Abbott. All rights reserved. JZ-0031-01

患者さまへ

抗血小板薬服用カード

 **このカードは常に持ち歩いてください**

- この抗血小板薬服用カードは、患者さまが生体吸収性冠動脈ステントを留置し、抗血小板薬を服用していることを示すためのものです。
- 他院や他診療科、歯科、薬局にかかる際にはこのカードとAbsorb<sup>®</sup>ステント手帳を提示してください。歯科医師・医師・薬剤師が治療方法やお薬の飲み合わせ等について考慮するために必要です。

シール

他院・他科・歯科の診察券や、ご自分を証明するカードなどにこのシールを貼ってください。 

抗血小板薬服用中	抗血小板薬服用中	抗血小板薬服用中	抗血小板薬服用中	抗血小板薬服用中
心臓疾患のために 抗血小板薬服用中	心臓疾患のために 抗血小板薬服用中	心臓疾患のために 抗血小板薬服用中	心臓疾患のために 抗血小板薬服用中	心臓疾患のために 抗血小板薬服用中

抗血小板薬の服用を中止する場合は、必ず心臓の担当医師にご相談ください。

JZ-0033-01